

令和6年12月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和6年12月24日(火)		
2 開会及び閉会	開 会	14時00分	
	閉 会	14時18分	
3 出席委員	教 育 長	三 宅 泰 司	
	委 員	上 西 芳 樹	
	委 員	片 山 美 香	
	委 員	門 原 眞 佐 子	
	委 員	中 島 俊 子	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	岸 川 和 忠	教育次長	島 田 和 男
次長(教育総務部長兼務)	疋 田 洋 一	学校教育部長	齋 藤 靖
生涯学習部長	大 谷 哲 子	教育企画総務課長	山 邊 真 由 美
学校指導課長	西 山 径	保健体育課長	松 岡 恭 一 郎
文化財課長	竹 内 広 宣	こども企画総務課長	石 原 加 恵
事務局 (教育企画総務課副主査)	武 藤 祐 子	事務局 (教育企画総務課主事)	難 波 実 佑
5 議題及び結果			
報告第19号	<専決処理の報告>市議会の議決を経るべき議案の原案への同意 について 令和6年度岡山市一般会計予算(第6号)のうち、教育 に関する事務に係る部分への同意について(岡山っ子育成局分)		承認
報告第20号	<専決処理の報告>市議会の議決を経るべき議案の原案への同意 について 令和6年度岡山市一般会計予算(第6号)のうち、教育 に関する事務に係る部分への同意について(教育委員会分)		承認
第24号議案	岡山市指定重要文化財の指定について		原案可決
6 教育長等の報告	[令和6年11月13日(水)～令和6年12月12日(木)]		
11/13	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(石井中)		学校指導課
11/14	教育長学校訪問(岡山中央中)		
11/14	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(操南中・足守幼稚園)		学校指導課

11/16、17	自然体験リーダー養成講座（少年自然の家）	地域子育て支援課
11/18	子どもが輝く学びづくりプロジェクト（浦安小）	学校指導課
11/18	令和6年度教育委員会行政視察（堺市教育委員会）	教育企画総務課
11/19	子どもが輝く学びづくりプロジェクト（興除中）	学校指導課
11/19	第2回総合教育会議	総務法制企画課
11/20	子どもが輝く学びづくりプロジェクト（竹枝小、三門小）	学校指導課
11/25	子どもが輝く学びづくりプロジェクト（操明小）	学校指導課
11/27	子どもが輝く学びづくりプロジェクト（東疇小・大野小）	学校指導課
11/27	教育長学校訪問（箕島小）	
11/28	子どもが輝く学びづくりプロジェクト（甲浦小）	学校指導課
11/28	教育長学校訪問（古都小）	

7 議事の概要

教育長	<ul style="list-style-type: none"> ○ それでは、定時が参った。ただいまから12月岡山市教育委員会定例会を開会する。 本日は傍聴希望者が1名おられる。入室してもらってよろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ 入室を許可する。 日程第1、会期については、本日1日限りとしてよろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ では、本日1日限りとする。 日程第2、こちらに11月定例会の議事録があるので、順次ご覧いただき、問題がなければご署名をお願いします。 続いて日程第3、次に事業報告をご覧になって質問があればお願いします。 ○ 学校訪問のご様子をお聞かせいただければと思う。 ○ 教育長学校訪問が3回あると思うが、全て、情報教育推進室が、授業支援ソフトを使った授業公開を依頼した12校である。今年、おかげさまで先進校というところできて、特に岡山中央中学校と岡山中央小学校は、国のリーディングDXスクール事業といって、そこに申し込んで行っている。岡山中央小は2月に授業公開があると思うが、岡山中央中はそういうリーディングDXスクールを受けた学校になっている。また、箕島小と古都小は、情報教育推進室が選んだ先進校というところで授業を見に行かせてもらった。もう皆さん見られたとおりで、オクリンクとかGoogleのアプリをふんだんに使ってやっていた。 岡山中央中学校は、同じく理科で非常によくできていた。古都小は、金属の温まり方に関する授業だった。特徴的だったのは、実験の様子を一人がライブ中継で撮り、今こちらを熱して赤くなったといってサーモテープを貼るから、どこが熱されたか分かる。その中でそれを見ながらやっていくという結構高度なことをやっていた。前にも話したが、理科の実験で、昔は今日の実験は失敗したな、こうなるはずだったけど覚えようみたいな知識注入型だったが、リアルで事実の中から何がどうだったかって考える授業になっておるので、子どもらの食いつきが違う。みんな一生懸命考えていて、45分間しんどいかもしれなというぐらいの集中力を発揮してやっていたので、すごいなと思いながら見た。 ちょっと異質だったのは箕島小学校である。1年生の体育でブレイクダンス、ダンスバトルをしていた。このサークルの中で2人。3人で、1人は審査で、2人バトル。もう本当にブレイキンと一緒に、1人の子は音楽にのって応援する。最後、判定がある。判定の基準も決まっていて、でも本当に1年生でここまでできるかと思ったけど、赤の勝ちとか、理由はこうであるみ
全委員 教育長	
全委員 教育長	
上西委員 教育長	

	<p>たいな。もうこれはある意味6年生よりすごいのではないかと校長に伝えたところ、6年生は恥ずかしがってなかなかできないと。</p> <p>芳泉小でも、教育課程を決める秋ぐらいに子どもたちの実態を把握するのにいい点、悪い点を出す、やはり芳泉は大勢いて、前へ出る子が少ない。自己肯定感が低いのと、リーダー性が薄いということがあるが、ある教員が、体育の表現で自分の心をさらけ出すみたいなのができる、発表もできるし、自己肯定感も増すということで、じゃあそれをすればいいとって僕も出たが、交流学級で知的学級の子も来ておって、一番喜んでしていた。だから、本当にインクルーシブな中でみんなが表現できる、勝ち負けがあってもお互い拍手して認めるというような、いいことづくめだったような気がして、全員これでダンスバトルすればいいと校長には伝えた。今我々も楽しい学校とか、活気のある学校とかを求めているが、様々な方法で実現できるなと思った。</p> <p>以上である。</p> <p>ほかに行事予定、事業報告について質問があればお願いします。</p>
<p>片山委員 学校指導課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先生方の採点の自動化についてはどういった状況か。 ○ デジタル採点システムは、大変好評であって、ベテランの先生もさすがに早く丸付けが終わるので、できる先生に教えてもらって、かなり活用が進んでいる。今までの手で丸付けしていたより半分ぐらいの時間で採点が終わるようになったということで、大変喜んでおられる。
<p>片山委員 教育長 門原委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ それはよかった。 ○ ほか、あるか。 ○ 今のそれに関してだが、私の経験上、採点するときはその子の少し弱いところとか、気になるところを見るため、丸はその後の問題であって、回答を見らということに教員の役目もあると思う。採点にかかる時間が半分で済むというのは効率的でいいと思うが、いわゆる子どもを見るというか、そういうことに関してはどうなのか。
<p>学校指導課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ まさに委員さんがおっしゃったとおり、我々もこれを導入するときそれが一番の課題で、そうならないように、子どもの顔が思い浮かばないまま丸付けするのはやはり授業者としてどうなのかと。これには家に持って帰ってテレワークもできる機能がついているが、やはり個人情報の関係で、テレワーク機能を使うと画面上から名前が消える。そうすると誰が何を書いたか分からないものに丸付けをすることになると、そもそもそれは学校の中でやる業務なので、持って帰ってやる業務ではないということで、岡山市ではテレワーク機能をつけてない。それが、ちゃんと子どもの顔を思い浮かべて丸付けしてねというこちらのメッセージではある。
<p>教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多分スキャナーで読み取って、例えば1問目が全員の答えが丸かバツかが見える、画面上で。見えるな、丸と自由記述と。 ○ 例えば大きな1番の(1)の……。 ○ だから、把握はある程度はできるんよな。
<p>学校指導課長 教育長 学校指導課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ はい。それが一つの画面に1クラス分ぐらいはざっと一覧表で出る。簡単な問題、答えであれば、もうこれが答えってそのA Iの画面に入力しとけば、ざっと丸をつけて。
<p>教育長 学校指導課長 教育長 学校指導課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ マル・バツがついたので見える。 ○ 一瞬でつけて見ることができる。 ○ チェックはできる。 ○ そう。間違えた子の何が間違えたかをチェックするのは簡単にできるので、そういう意味では効率よくできると思う。
<p>門原委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 採点を行うときは、思考過程も見ていたと思う。面白い考え方とか、答えに至るところのプロセスを見ていた時代もあったけれど、そこはちょっと置いといてとなるのか。

学校指導課長	○ 記述式も、当然一つの画面に全員は載らないが、画面に数人分まとめて出るので、見比べることができる。逆に言うと採点ミスがなくなる。部分点をつけるときの基準がぶれないという意味では、デジタル採点は良いと思っている。ただ、門原委員がおっしゃったそこに関しては。
教育長 門原委員	○ 丁寧にはできない。 ○ 少し前よりも字がきれいになったとか、何かこういう発想もできるんだ、できるようになったんだなというちょっとしたことも見ることもできた。
教育長 門原委員	○ 何を求めるかだな。 ○ そうである。でも、それも大事だという視点もお伝え願えていればありがたいと思う。
学校指導課長 教育長	○ はい。 ○ テストを紙で返さないという時代である。子どもが求めなかったらそのまま、クロームブックで見るんだったかな。
学校指導課長 門原委員	○ はい。子どもがクロームブックでデータを取りに行く。
教育長	○ テストは何ですか。ペンで書くのか、自由記述。
学校指導課長	○ 紙に書き、その後スキャナーで読み取る。
教育長	○ ほとんどの学校で、紙は一応返すのは返している。ただ、返ってきた紙には何も書いてない。
学校指導課長	○ デジタル上でやっているからか。 ○ そうである。クラウド上に自分の答案を取りに行き見に行ったときに、そこにマル・バツがついていて得点がついている。
教育長	○ 1年目だからこれからどう活用していくかなと思うけどね。ほか、よろしいか。
全委員 教育長	○ 〈なし〉 ○ それでは次に、議事に入る前に、会議の公開、非公開について諮る。 日程第5の第25号議案は附属機関等の委員の任免に関する事項に該当し、報告第21号は会議を公開することにより教育行政の公正かつ円滑な運営に著しい支障を生じるおそれのある事項に該当する。また、報告第22号及び第26号議案は、任免、賞罰等職員の身分取扱い、その他人事に関する事項に該当する。そのため、岡山市教育委員会会議規則第7条第1項に基づき、それぞれ非公開としたいと思うが、委員の皆様、いかがか。よろしいか。
全委員 教育長	○ 〈承認〉 ○ 全員一致で非公開とさせていただく。 それでは、日程第4、報告第19号をこども企画総務課から説明願う。
こども企画総務課 長補佐	○ こども企画総務課である。 報告第19号専決処理についてご報告する。 令和6年度岡山市一般会計補正予算（第6号）のうち、岡山っ子育て局分への予算案の同意について、教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため、令和6年12月3日に専決処理したものである。 令和6年度一般会計補正予算のうち、岡山っ子育て局関係分について、内容は給与改定及び人事異動等による人件費の過不足調整によるものである。 第20項幼稚園費、第1目幼稚園管理費は1,102万円余の増額で、就園管理課、幼保運営課の職員給与等に係るものである。 第25項社会教育費、第1目社会教育総務費は128万円余の増額で、地域子育て支援課の職員給与等に係るものである。 岡山っ子育て局関係分の説明は以上である。
教育長	○ ご質問、ご意見等があればお願いします。 よろしいか。
全委員 教育長 全委員	○ 〈なし〉 ○ それでは、報告第19号を承認してよろしいか。 ○ 〈承認〉

<p>教育長</p> <p>教育企画総務課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全員一致で報告第19号を承認する。 続いて、日程第4で報告第20号を教育企画総務課から説明願う。 ○ 報告第20号についてご説明する。 こちら先ほどの岡山っ子育成局と同様に専決処理の報告ということで、令和6年度岡山市一般会計補正予算（第6号）のうち、教育に関する事務に係る予算案への同意について、市議会への提案をする前にこちら教育委員会のほうに付議する時間がなかったので、12月3日に専決処理させていただき、今回、それより直近の委員会のほうにご報告をさせていただくものである。 内容については、先ほどと同様に人件費の補正である。このたびの改定は、そこに書いてあるように、給与改定の主な内容というところの月例給の改定分、それと（2）の期末手当・勤勉手当に関し、12月の支給月をそれぞれ0.05分、合わせて0.1月分引き上げたものを補正額として上げさせていただいているものである。 8億7,498万1,000円を補正額として上げているものである。 それぞれの事務の内容は、各事務費であるとか、小学校費、中学校費、小学校費、中学校費というところの教職員の人件費というものをこのたび改定させたことに当たって増額になったものと、あと人事異動による各局で減額になったところというものがあって、それについての補正を求めたものである。 説明は以上である。
<p>教育長</p> <p>全委員</p> <p>教育長</p> <p>全委員</p> <p>教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ご質問、ご意見等があればお願いします。 よろしいか。 ○ 〈なし〉 ○ それでは、第20号を承認してよろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ それでは、全員一致で報告第20号を承認する。 続いて、第24号議案を文化財課から説明願う。
<p>文化財課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第24号議案岡山市指定重要文化財の指定についてである。 本件は、岡山市文化財保護条例第3条第1項第1号の規定により、岡山市指定文化財として新たに2件を指定しようとするものである。 岡山市文化財保護条例第10条の2の規定に基づき、当教育委員会が令和6年11月19日付で岡山市文化財保護審議会に諮問を行い、令和6年11月28日付で同審議会から指定にすることが適当との答申をいただいたことから、本日の議案とさせていただいている。 今回指定を行おうとする物件2件は、先月19日に諮問についてご審議いただいた大福寺表門と大福寺客殿である。17世紀、18世紀に建築されたものであるが、ともに良好に保存されており、戦災を免れた市街地に残る数少ない近世の建造物として貴重なものであることなどから、岡山市文化財保護審議会から答申をいただいた次第である。 なお、岡山市文化財保護条例に基づく指定文化財の現在の件数は、16ページにお示ししたとおり、選定1件を含めて127件である。 説明は以上である。ご審議のほどよろしく願います。
<p>教育長</p> <p>全委員</p> <p>教育長</p> <p>全委員</p> <p>教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 説明が終わった。 ご質問、ご意見等があればお願いします。 よろしいか。 ○ 〈なし〉 ○ それでは、第24号議案を原案どおり可決してよろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ では、全会一致で第24号議案を原案どおり可決する。 次に、非公開の審議に移るので、関係者以外の方はご退席をお願いします。

傍聴の状況

報
一

道
般

0名
0名

令和6年12月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	令和6年12月24日（火）		
2 開会及び閉会	開会	14時18分	
	閉会	14時25分	
3 出席委員	教育長	三宅泰司	
	委員	上西芳樹	
	委員	片山美香	
	委員	門原眞佐子	
	委員	中島俊子	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	岸川和忠	教育次長	島田和男
次長（教育総務部長兼務）	疋田洋一	学校教育部長	齋藤靖
生涯学習部長	大谷哲子	教育企画総務課長	山邊真由美
教職員課長	高井紀之	保健体育課長	松岡恭一郎
事務局 （教育企画総務課主事）	難波実佑		
5 議題及び結果			
第25号議案 報告第21号	岡山市文化財保護審議会の指定について ＜専決処理の報告＞		原案可決 承認
報告第22号	岡山市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について ＜専決処理の報告＞		承認
第26号議案	岡山市教育委員会事務局職員の人事について 岡山市立学校教職員の人事について		原案可決